

3DCG による時計駆動部の研究

21111349 渡辺 沙季 (わたなべ さき)

【研究の目的】

卒業制作を行うにあたり時計の 3DCG 制作、そして組立をする事を行う為、時計の駆動部研究をする事になった。

【研究結果】

- ・振り子は同じ重さ、同じ長さであれば振り幅に関係なく周期は同じ (赤部分)
- ・ゼンマイの動力で回転し続けようとするガンギ車 (青部分) を、振り子と連動する二つの爪が受け止めたり外したりする事でガンギ車が一定速度で回転する
- ・この一秒に 1 回などの割合で回転するガンギ車の軸と時計の針を動かす歯車軍 (橙部分等) を連動させる事で、正しく時間を刻む振り子ができる。

【今後】

この研究を活かして、卒業制作である時計制作を進める

